暮らし応援　みんなの声で変えよう東京

新婦人東京都本部

東京都庁

東京都議会議員選挙は、約1400万人の都民の暮らしを左右するだけでなく、首都東京の動向は国政にも大きな影響を与えます（本紙5月31日号1・2面）。高すぎる国民健康保険（国保）料、東京都はどうする？　新婦人東京都本部が提出した2つの請願に対して6月議会でこの党がどういう態度をとったか。いま確かな一票の行使が求められています。

払えない…　高すぎる国民健康保険料

「国保料金下げて」　せられています。

国民健康保険は、加入者の多くが自営業者や非正規労働者、無職者・年金生活者です。

しかし、年収400万円の4人家族（30代の夫婦と小学生の子ども2人）の国保料は、東京23区で年間40万円前後になり、会社員などが加入する社会保険（協会けんぽ）の2倍以上。高すぎる保険料に「払えない」と切実な声があがっています。

東京都は、各自治体が国保料の軽減のためにおこなってきた「法定外繰り入れ」を政府が言うままにやめさせ、「原則として早期に解消・削減を図る」均等割を引き下げるには、都が保険料への予算を増やすことで可能となります。誰もが安心して医療を受けられる国保制度に、という切実な要求は都議選の争点の一つです。

葉の形のカードに要求を書いて

協会けんぽと同額に　子どもの均等割はやめて

八王子市　川嶋美穂さん（49）

自営業で、夫と子ども2人の4人家族です。年9回に分けて支払う国民健康保険料は1回につき10万円を超え、生活費に大きな負担となっています。物価も高騰していますが、子どもには安全な食材で栄養を考えた食事を食べさせたいと思うと食費はなかなか削れません。

子どもは大学生と高校生で、学費もかかります。東京都の高校は授業料無償化とはいえ、私立に通っているので授業料以外の経費が大きく上乗せされます。学費と国保料の支払いが同じ月になる時は、気持ちの負担がかなり大きいです。

わが家は自営業で夫だけが働いているので、夫がケガや入院などで働けなくなると、あっという間に収入が絶たれてしまう。そう思うと、とても不安です。保険料は高いうえに、ここ1年間で2万円も上がっているんです。せめて保険料は協会けんぽなどと同じ金額にしてほしいし、子どもの均等割もやめてほしいです。

「選択的夫婦別姓」「公共交通機関拡充」　――2請願の実現せまる

支部から　地元の各党・議員へ要請

「別でやりますので結構です」（公明党）、「元代表や小池知事がダメなものは党内で何も通らない」（都民ファースト）、13時の委員会開始早々居眠り（自民党）――。6月都議会へ、新婦人の各支部が地元選出の都議会議員への要請や委員会傍聴のときのようすです。

都本部は「選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書提出」「全ての都民にとって便利で安く快適な公共交通機関の利用を実現することに関する」の2本の請願を提出し、支部から迫っています（下表）。

職場の駐車場で「選挙に行こう」宣伝。シール投票で対話（東京・大田支部おむすび班）

別姓反対の自民　請願者で態度変える公明・都ファ

今回、選択的夫婦別姓制度について、東京弁護士会が出した「法制化をもとめる意見書提出」請願と都本部の請願の2本が委員会にかかりました。弁護士会の請願には自民党以外の全会派が賛成、自民党は反対意見もなしに賛成せず、趣旨採択。6日の本会議で全会一致でなかったため国への意見書は提出されませんでした。

また、都本部提出の請願には、自民と一緒に公明・都ファも反対、請願者を見て態度を変える不公平さは許されません。

各党の態度　（○替成、×反対）

選択的夫婦別姓制度の請願

請願者	自民	公明	都ファ	共産	立民	ミライ	結果
東京弁護士会	×	○	○	○	○	○	趣旨採択
新婦人	×	×	×	○	○	○	不採択

公共交通機関拡充の請願

委員会名	自民	公明	都ファ	共産	立民	ミライ	結果
都市整備	×	×	×	○	×	×	不採択
経済・港湾	×	×	×	○	○	／	不採択
文教	×	×	×	○	○	○	不採択

「都ファ」都民ファーストの略／「ミライ」都民ファーストから分かれて設立

傍聴者を愚弄　自民・都ファの「なれ合い」

公共交通機関の利用に関する請願では、「交通の空白、不便地域をなくすこと」「子どもの交通費を安くすること」など4項目に加えて、「痴漢対策の車内アナウンスを1時間に1度など義務付けを」の要求も。これは文教委員会にかけられました。共産党が紹介議員になった請願が複数審議されると、自民議員は多くの傍聴者に聞こえるように「これじゃまるで共産党大会だな」と都民の願いを冒涜する言葉。そして「16時半に帰りたいからよろしく」と都民ファースト所属の委員長に言い、両者でうなずくなれ合い。傍聴者らは「本当に腹が立った」と怒りを隠せません。

こうした事実を周りの女性たちに知らせ、22日投票の都議会議員選挙で確かな選択をしようと、都本部は呼びかけています。

東京都議会議員選挙

（6月13日告示・22日投開票）

ジェンダーリレー講座　〈138〉

国連女性差別撤廃委員会（CEDAW）の勧告いかして⑥

農村女性の地位向上をめざして

農民連女性部では、昨年10月に行われた国連女性差別撤廃委員会の日本報告審議に向けて、農業女性の実態を農業女性自身による調査で明らかにしようと、「農村女性の地位向上に関するアンケート」調査を実施。47都道府県、630人の農業女性から回答を得ました。

調査結果で特徴的だったのが、農業女性の長時間労働です。1日の労働時間が8時間以上という回答が6割で、加えて10時間以上は16・7％。中には15時間、16時間、18時間という回答も複数ありました。女性はこの他に家事労働時間も長く、約半数の女性が家事の休日は「なし」と回答するなど、まさに「働きづめ」の様子が浮き彫りになりました。

また、減収を補うために長時間労働が深刻化し、農業従事者の働き分を認めない所得税法56条の改正、保健医療、社会保護、傷病手当や出産手当等への十分なアクセスを確保することなどが勧告されました。

ところが農水省は、「女性の活躍」は掲げても、その内実は性別役割分担の固定化や女性の補助的役割を是認する政策内容となっています。

また農業白書をはじめ公的文書でも「ジェンダー」という用語をまったく使用せず、ジェンダー平等をどう実現するかという視点に立った農業女性の実態調査も行っていません。

農業が生業として成り立ち、安心して生産に専念できる農業政策へ転換するよう、農民連女性部は今後も価格保障や所得補償など家族農業への支援強化を求め、運動を強めていきます。

農作業する女性（農民連女性部提供）

ホットライン

ホットラインの投稿は編集部メールアドレス　s-press@shinfujin.gr.jp へ

静岡　ガザへの攻撃　ただちにやめよ

【静岡支部　吉澤はつ江】2月に入会したばかりの西田玲奈さんは次世代国会行動に参加。行動の後、玲奈さんは私と一緒に19日行動に参加。「ガザの攻撃ただちにやめよ」と自作の小さなプラスターを持ってきて、戸惑いながらもマイクを持ち、堂々と「戦争終わらせよう！」と主張。以下は玲奈さんの感想です。

「次世代国会行動の時、千葉県の会員の呼びかけで武器見本市への抗議があることを知りました。いつもガザの子どもや女性たちのことを考えています。今回のスタンディングでは、緊張しながらマイクを持たせてもらいました。もっと勉強して、どうしたらもっと世間にアピールできるのか考えたいです」

国会行動で全国の仲間から刺激をもらい成長した玲奈さんから、私たちも元気をもらっています。

自作のプラスターかかげて▲静岡

熊本　エコパーク内のトイレウオッチング

【水俣支部あじさい班　久木田尚子】4月10日、7人の参加で埋立地のエコパーク内にあるトイレ・ウオッチングへ。

エコパークは水俣病資料館や道の駅があり、毎年水俣病慰霊の式典やイベントも行われます。サッカーやソフトボールの試合ができるエリアやグランドゴルフが数カ所できるエリア、子どもの遊び場等と広く、トイレは13カ所。当日はグランドゴルフで利用している会員の案内で、最初のエリアは2グループに別れ、その後は全員一緒に行動しました。

雨模様でトイレの利用状況は確認できませんでしたが、清潔度やペーパーの補充、破損の有無、多目的トイレでは障がい者に優しいか等確認できました。

今後チェックしたことを県に提出し、改善を要望していきたいと考えています。

チェック項目を県に要望▲熊本

兵庫　3世代の班で親子クッキング

【伊丹支部さくら班　赤松正子】3世代が集う班です。私たち年配者は第4火曜日に、お昼を食べながら班会をします。子ども（孫）たちが小さい時は3世代一緒に、会員の自宅で班会を開いていましたが、子ども世代はなかなか一緒に班会ができません。そこで日曜日に親子クッキングをしました。

5月18日、おとな6人、子ども6人の12人で、労働福祉会館スワンホールの調理室を一日借り、孫たちをそばの昆陽池公園で遊ばせながらピザとクッキーを焼きました。ピザは生地から作りました。子ども世代の応援になればと思っています。次回はクリスマスかな？

子育てを応援したい▲兵庫

長野　給手紙小組15周年ランチ会

【豊科支部アルプス班　轟咲子】東京から転居してきた渡辺さんを講師にはじめた給手紙小組で15周年のランチ会をしました。発足時から公民館を借りて、チラシを会場周辺に配ったり、「JA給手紙の作品」に貼らせてもらったり、コロナ禍でも、屋外でのスケッチなどとりくんできました。支部として豊科地域文化祭にも参加するようになりました。

「転居して何かをしたいと探している時、公民館の方から紹介された」「駅前の平和の集会に、短歌のお題が9条だったので参加、声をかけられた」「新聞折り込みのチラシを見て」など入会の入り口はそれぞれ。仲間を増やして、今後も豊かな活動をしていきたいと思います。最近は、描く前にしんぶんタイムをとり始めました。

入会の入り口はそれぞれ▲長野

香川　庭の花を持ち寄って

25種！持ちより花見会▲香川

【高松支部みみずく班　磯部康子】「花見に行くにも、移動手段を相談しないといけない」「行っても敷物だけで座るのも大変」と4月の班会は、日頃使っている班会場に各自のお庭に咲いている花を持ち寄る花見会をしました。

当日は25種もの花が集まり、すてきな花見に。お菓子を食べながら、健康のことなどをおしゃべりしました。

宮崎　ミニ作品展＆体験会

【都城北諸支部　新村初代】5月23・24日、支部主催のミニ作品展&体験会をしました。宮日新聞にチラシ7000枚を折り込み、当日はゲスト10人を含む延べ58人が参加。メインは「お米が高い！なぜ？」の学習会、県農民連の来住書記長のお話に「安心して日本のお米が食べたい」「ネオニコ農業を使わない産直米」への理解も深まりました。「原爆の絵」も展示。

のべ58人が参加▲宮崎

福岡　折り鶴カフェ　四季の風物も

【大牟田支部　井島正子】折り鶴カフェでは毎週1回集まっておしゃべりしながら手も動かして折り鶴や四季の風物も作っています。クリスマスにはツリー等）5月は包装紙などを利用してこいのぼりを制作。お父さん、お母さん、きょうだいたくさんの大家族に。

大家族のこいのぼり▲福岡

料理・小物つくり・押し花しおり・健康マージャン・新聞ちぎり絵・美と平和・布ぞうり・健康体操・リメイク相談会の体験会にはいくつも参加する姿が。健康マージャン小組を6月から始めることになり、元会員が再入会。